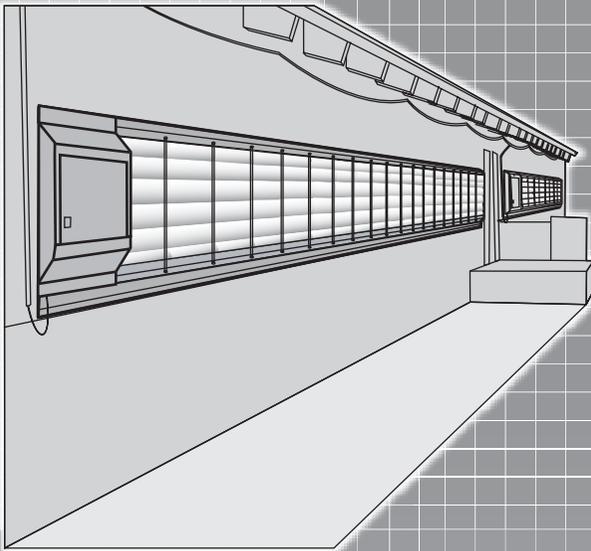


畜舎用

エアマットカーテン

施工要領書



安全にお使いいただくために

このたびはエアマットカーテンをお買い上げいただきありがとうございました。
ご使用前にこの施工要領書をよくお読みになり、作業方法を正しく理解した上でお使いください。
お読みになった後は、所定の場所に保管してください。

目次

はじめに

重要なお知らせ	1
安全について	2
警告について	2
製品の概要	4
各部のなまえ	4
仕様	5
型式と寸法	5

施工

施工について	7
施工の前に（スミ打ちについて）	7
施工手順	9
電気配線	16
配線上の注意	16
エア供給ファンユニットの接続について	16
試運転	17

使いかた

運転	18
運転前の準備（試運転時も同様）	18
運転のしかた	18
運転中の確認（試運転時も同様）	19
停止のしかた	19
保守点検	20
定期点検一覧	20
お手入れについて	21
困ったときは	22
異常の原因と処置方法	22

その他

保証とアフターサービス	23
お問合せ先	裏表紙

- この施工要領書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

重要なお知らせ

■ 使用目的・用途について

エアマットカーテン（以下、製品と記す）は、高断熱と高気密を兼ね備えたカーテンシステムです。

通常カーテン（二重カーテン）としての使用やウインドウレス式畜舎の空調制御盤等と組み合わせて使用することができます。また、停電時の換気装置として使用できます。目的以外の用途には使用しないでください。

■ 取扱上の注意

- この施工要領書は、製品の安全に関する事項、施工・運転・保守の作業方法を説明しています。イワタニ・ケンボロー株式会社（以下当社と記す）は、この施工要領書記載の指示事項を守らなかったり、製品を改造したり、あるいは作業にあたり、通常必要とされる注意または用心をしないで生じた損害または傷害に対しては一切責任を負いません。
- 製品の施工・運転または定期点検を行う場合は、この施工要領書に表示されている事項に限らず、事故防止対策に関しては十分な配慮が必要です。
- この施工要領書は、日本語を母国語とする人を対象に作成しています。日本語を母国語としない人がこの製品を取り扱う場合は、取扱者に対して安全指導を徹底してください。

■ 譲渡について

- この製品を国外へ持ち出した場合、当該国での使用に対し、事故などによる補償などの問題が発生することがあっても、当社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。
- この製品を譲渡（転売）または貸与される場合は、相手の方にこの施工要領書の内容を十分理解していただき、この施工要領書を製品に添付してお渡しください。譲渡（転売）される場合は、必ず譲渡（転売）先を当社へご連絡ください。

■ その他の注意

- この施工要領書の内容は、製品の改良のため、予告なしに変更する場合があります。
- この製品とこの施工要領書のイラストとは異なることがあります。また製品の一部は、製品内部の説明を容易にするために省略していることがあります。
- この施工要領書は著作権を有します。この施工要領書の全体もしくは部分的にも、当社の事前の文書による同意なしに複製、翻訳してはならず、また読み取りのできるいかなる電子装置や機械にも転写しないでください。
- この施工要領書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い求めの代理店にご注文ください。
- さらに詳しい情報を必要としたり、質問があるとき、または内容について不明な点がありましたら、お買い求めの代理店へお問い合わせください。

安全について

ご使用前に、この施工要領書をお読みにになり製品を正しくお使いください。

警告について

■ 表示の説明

この施工要領書中の「警告文」は、作業時に想定される危険な状況を、以下のカテゴリで表示される「警告用語」と共に警告しています。

警告文の内容を無視すると、その警告文に付された「警告用語」に応じた事故につながる恐れがあります。極端な場合、死亡事故、製品の重要部品の破損、環境被害につながる恐れもあります。

表示の説明

 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されることを示します。
 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されることを示します。
 お知らせ	大切な事柄や強調したり、有益な情報を提供する文章に使用します。

*1：重傷とは、失明やケガ、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないケガ、やけど、感電などをさします。

*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

 は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



図記号の例



 は、指示する行為の**強制**（必ずすること）を示します。
具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



図記号の例



 **警告**

	<p>仕様変更、改造、分解はしないでください。 ※ 発火したり異常動作して、ケガをする恐れがあります。</p>
 アース線接続	<p>アース線の接続を必ず行ってください。 ※ 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。</p>
	<p>保守点検の際は、主電源スイッチ（ブレーカ）を切（OFF）にしてください。 ※ 感電ややけどの原因になります。</p> <p>主電源スイッチ（ブレーカ）および電源ケーブルを抜いていることを確認してから配線をしてください。 ※ 感電や火災の恐れがあります。</p> <p>取り付け、配線工事は専門業者に依頼してください。 ※ お客様にて工事をされ不備があると、感電や火災の恐れがあります。</p> <p>製品を取り付けてから配線をしてください。 ※ 感電、火災の恐れがあります。</p> <p>製品を使用する時は、製品の傍に人がいないことを確認してください。 ※ 傷害事故につながる恐れがあります。</p> <p>長期間使用しない時は、電源アダプタをコンセントから抜いてください。 ※ 絶縁劣化により、感電や火災の恐れがあります。</p>

 **注意**

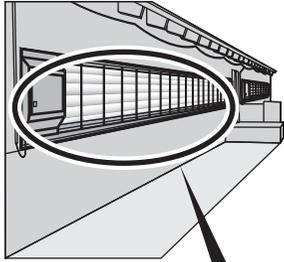
	<p>使用電圧以外には接続しないでください。 ※ 火災、感電の恐れがあります。</p>
	<p>パイプ接続時に過度な荷重をかけないでください。 ※ 空気漏れが発生して故障の原因になります。</p>

お知らせ

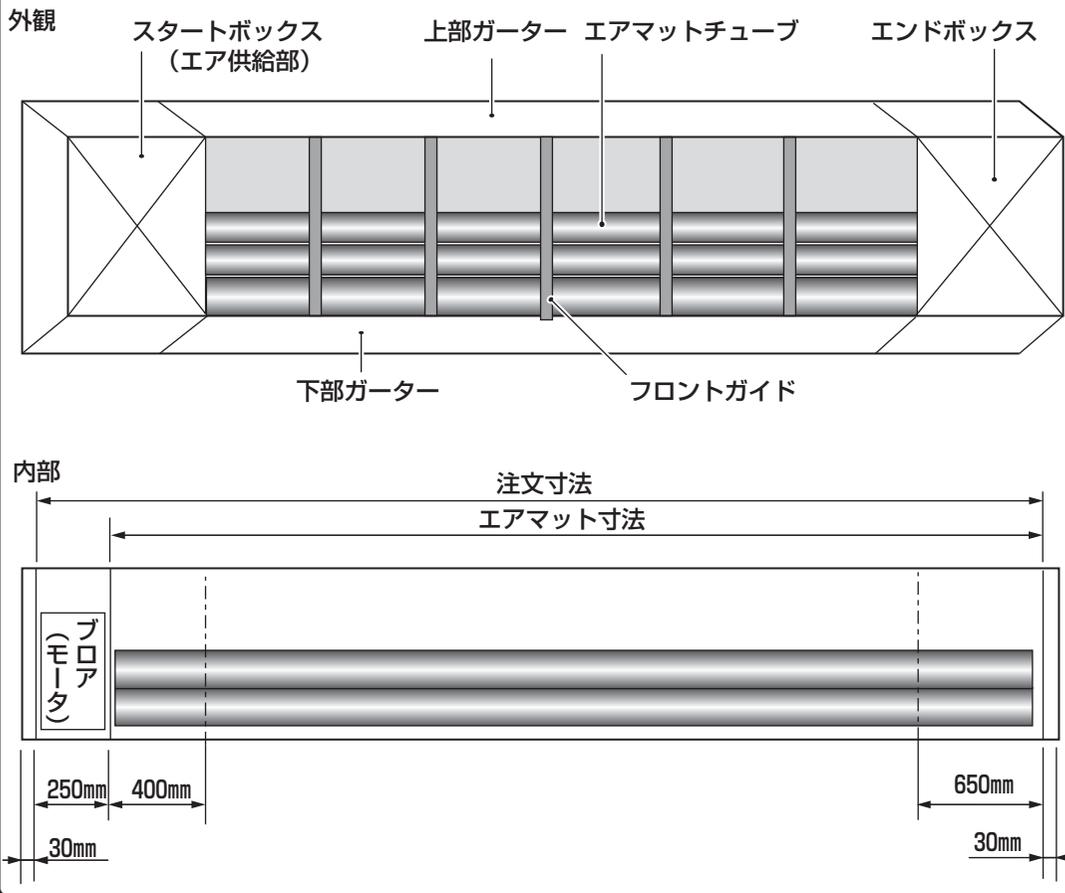
- 氷結する場所には取り付けないでください。
- 振動しやすい場所には取り付けないでください。

製品の概要

各部のなまえ



拡大



仕様

製品の仕様を以下に示します。

名称	仕様	数量
スタートボックス	エアマットスタート部：1台 エア供給ファンユニット：1台 ファン用配線・50cm：1セット エア供給ホースセット：1セット	1式
エンドボックス		1台
エアマツチューブ	高さ：各型式×幅：お客様指定寸法分	1本
上部・下部ガーター	上・下セット：L=2mもの必要分	1式
鉄板・水切り		1式
フロントガイドセット	お客様指定寸法÷1mピッチ：1セット フロントガイド取付用ボルト・ナット：1セット	1式
ビス、釘類	製品を畜舎に取り付けるビスまたは釘類	1式
本製品に含まれない資材 (お客様手配)	亀甲金網 (#18×16 または、#18×18) コーキング材	1切 別途

■ エア供給ファンユニット (ブロー (モータ))

項目	数値
入力電源	AC200V 単相 (AC100V 単相)
周波数	50Hz / 60Hz (50Hz / 60Hz)
消費電力	40/50W (45/55W)

() 内はオプション仕様を示します

■ 材質

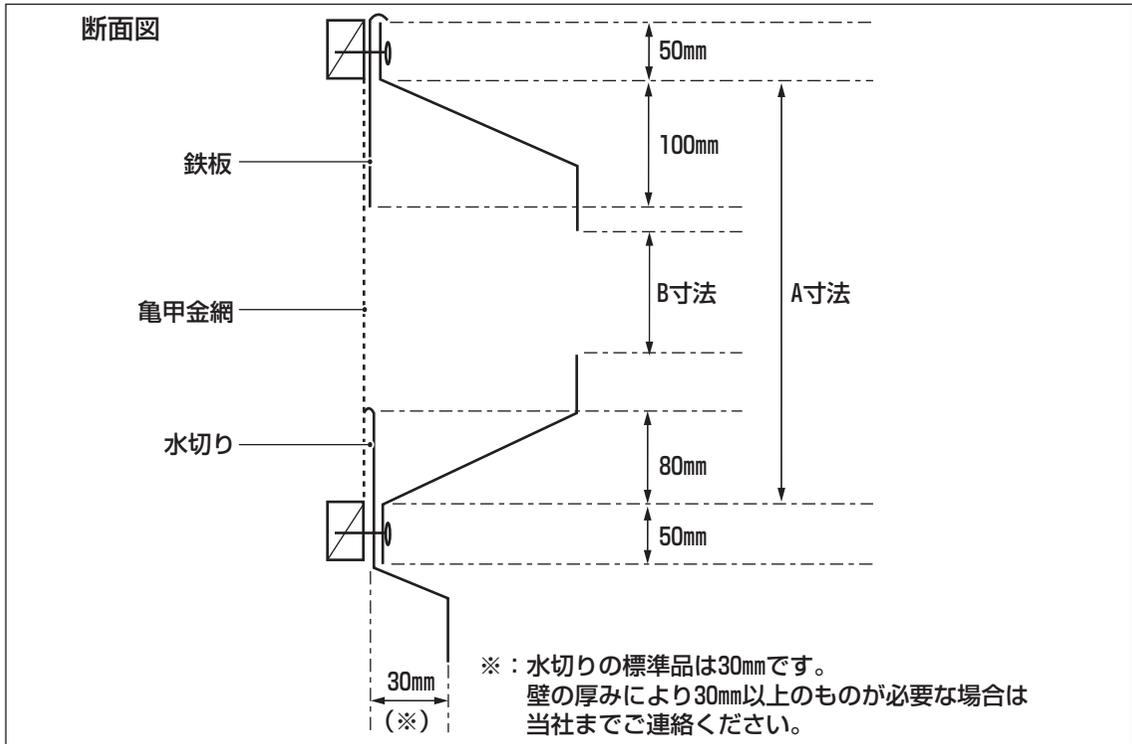
項目	仕様
スタートボックス エンド部 上部・下部ガーター	カラーガルバニウム鋼板 (厚み 0.6mm)
鉄板・水切り	ガルバニウム鋼板 (厚み 0.35mm) ※水切りは外壁の厚みによって必要寸法が異なります。(6ページ参照)

型式と寸法

お知らせ

- エアマットチューブは、農業用 PO フィン系特殊フィルム[®] (注) を使用しているため、施工時の傷などの破損には十分に気をつけてお取り扱いください。

注) 農 PO フィルムは、ポリオレフィン系樹脂を原料として、これに各種添加剤を配合し、さらにフィルムを多層構造化することで農業用として幅広い品質レベルを付与するように、特殊化した新しい範疇のフィルムです。



単位：mm

項目	A 寸法	B 寸法
I 型 (4 段・600 巾)	600	356
II 型 (5 段・750 巾)	750	506
III 型 (6 段・900 巾)	900	656
IV 型 (7 段・1050 巾)	1050	806
V 型 (8 段・1200 巾)	1200	956

お知らせ

- エアマットチューブの材質：農 PO フィルム
- エアマットチューブの構造：遮光・遮熱層を透明層で挟んだ 5 層構造

施工について

施工の前に（スミ打ちについて）

スミ打ちをすると、製品の位置決めがしやすくなります。
スミ打ちをする場合は、以下の手順を参考にしてください。

お知らせ

- 下記の図は、外壁がある場合を例にしています。

警告



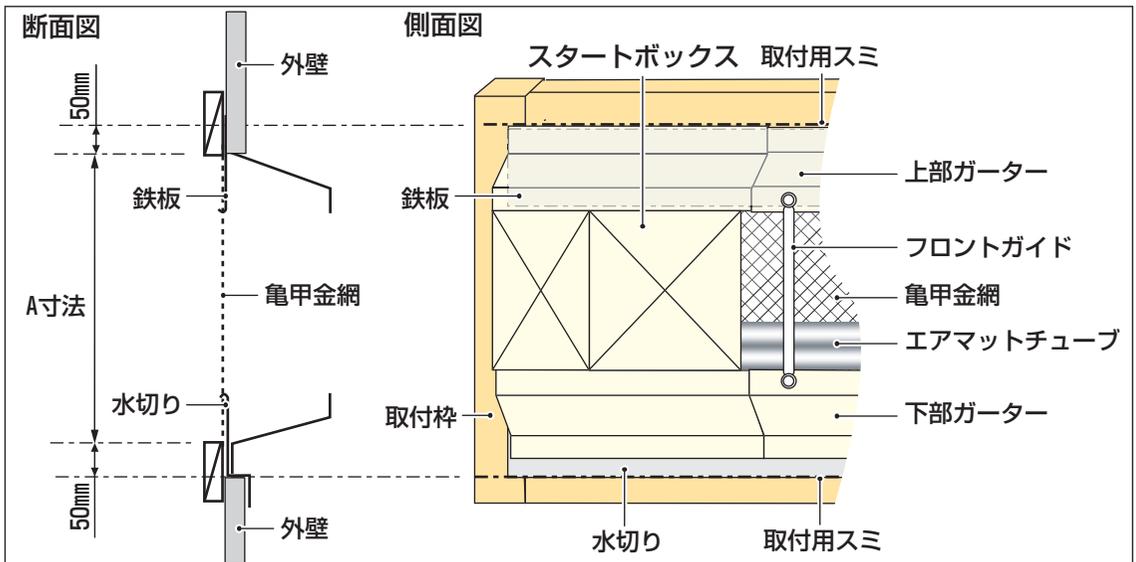
取り付け、配線工事は専門業者に依頼してください。

※ お客様にて工事をされ不備があると、感電や火災の恐れがあります。

施工概要

お知らせ

- 以下に施工手順の概要を記載します。詳細については、「■ 施工手順」（7 ページ）を参照してください。



1 取付枠に取付用スミを打ちます。

お知らせ

- 取付用スミ（上側）：鉄板の折り返し上部分に沿ってスミを打ってください。
- 取付用スミ（下側）：水切りの折り曲げ部分に沿ってスミを打ってください。

2 亀甲金網を貼ります。

3 取付用スミに沿って、鉄板、水切りを取り付けます。

4 スターターボックスを鉄板の折り返し部分に差し込み、取り付けます。

5 エンドボックスを鉄板の折り返し部分に差し込み、取り付けます。

お知らせ

- はじめにスタートボックスをつけ、上部・下部ガーターを取り付けた後、エンドボックスを取付けることも可能です。

6 上部ガーターを鉄板の折り返し部分に差し込み、取り付けます。

7 下部ガーターを水切り部分の折り曲げ部分に沿って取り付けます。

お知らせ

- はじめにスタートボックスをつけ、上部・下部ガーターを取り付けた後、エンドボックスを取付けることも可能です。

8 上部ガーターに、フロントガイドの上部を仮留めします。

お知らせ

- エアマットチューブを装着するため、上部ガーターのみに仮留めしてください。

9 エアマットチューブを挿入します。

10 フロントガイドの上部、下部を固定します。

施工手順

開口部の設置

⚠ 警告

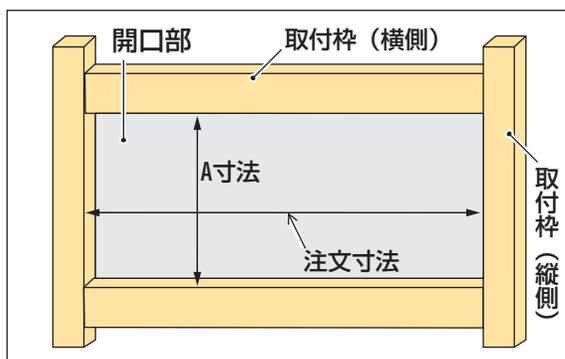


建物に開口部を開ける際は、専門業者に依頼をしてください。

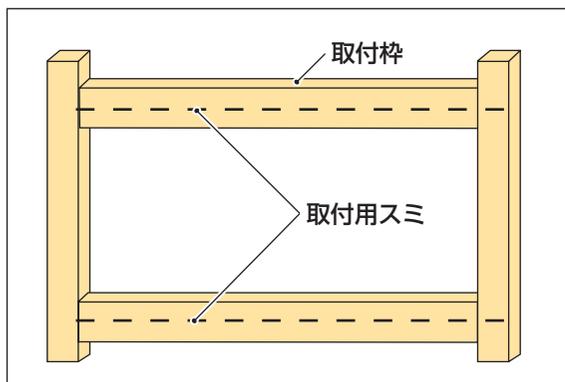
※ お客様にて工事をされ不備があると、傷害事故につながる恐れがあります。

お知らせ

- 取付枠（縦側および横側）の仕上げ面は、面一にしてください。
- 壁がある場合は固定をするスペースを設けてください。（「スタートボックスおよびエンドボックスの取り付け」参照）
- 取付枠（縦側および横側）の材質は、木材または鋼材のどちらでもかまいません。施工しやすい部材を選択してください。
- スタートボックスおよびエンドボックスは、取付枠内に必ず納めるように取り付けてください。（下部図面の枠内に納める）
- 高さ寸法は、別表（6 ページ）A 寸法を参照してください。
また、幅寸法は、お客様指定寸法（注文寸法）です。

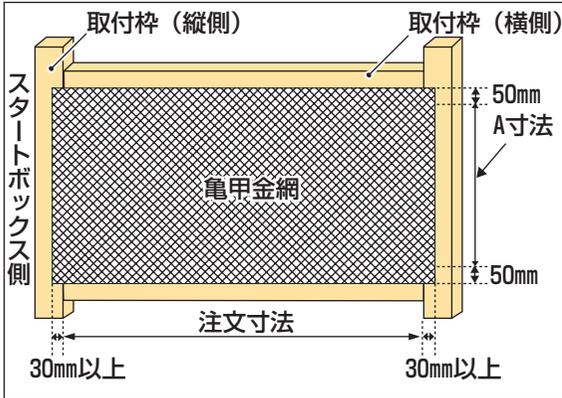


1 取り付ける建物に開口部を開けます。



2 スミ打ちを行います。

亀甲金網の取り付け



1 亀甲金網を準備します。

お知らせ

- 亀甲金網（お客様手配）は付属品ではありません。

2 左図の位置に亀甲金網を取り付けます。

お知らせ

- 高さ：A寸法 + 100mm 以上（上部 50mm + 下部 50mm）
- 長さ：お客様指定寸法（注文寸法） + 60mm 以上（スタートボックス側 30mm + エンドボックス側 30mm）
- 亀甲金網の繋ぎ目部分に保護板等を使用して、亀甲金網がエアマットチューブに刺さらないように、取り付けてください。
- 亀甲金網が内側にたわまないように取付枠（縦側）に取り付けてください。

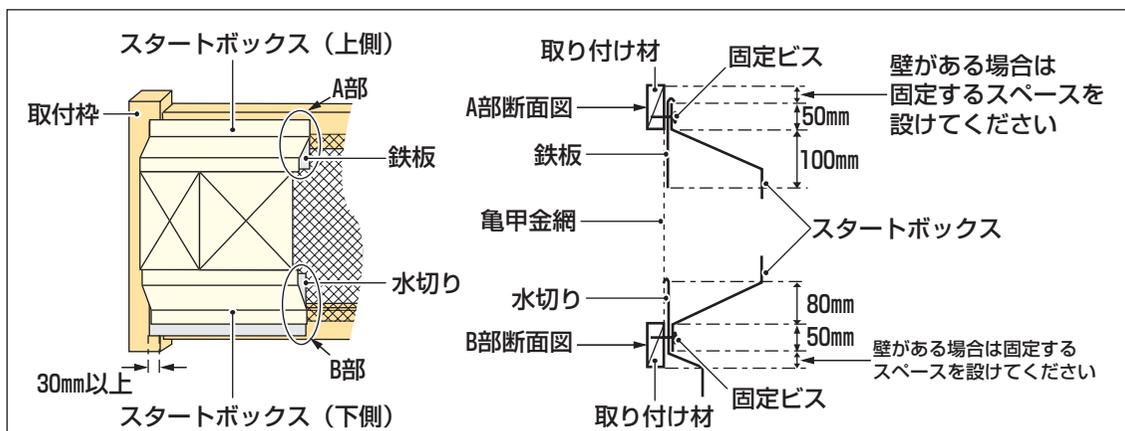
スタートボックスおよびエンドボックスの取り付け

⚠ 注意



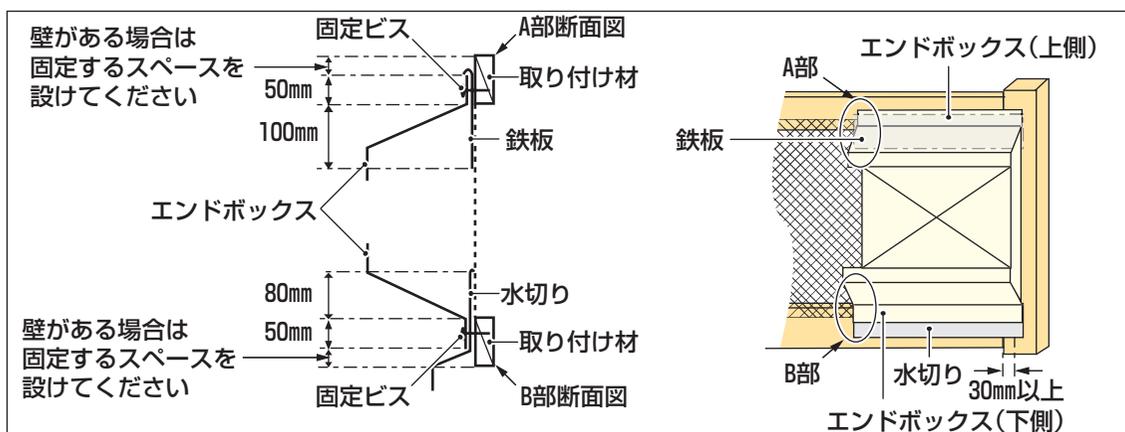
固定ビスをハンマーなどで打ち込む際は、十分注意してください。

※ ケガをする恐れがあります。



1 取付用スミに沿って鉄板および水切りを取り付けます。

2 鉄板の折り返し部分にスタートボックスを差し込み、上図の寸法に従って、固定ビスで固定します。



3 鉄板の折り返し部分にエンドボックスを差し込み、上図の寸法に従って、固定ビスで固定します。

上部、下部ガーターの取り付け

! 注意



切断用の工具を使用する際は、周囲の状況を確認して作業を行ってください。
また、工具の取り扱いには十分注意をしてください。

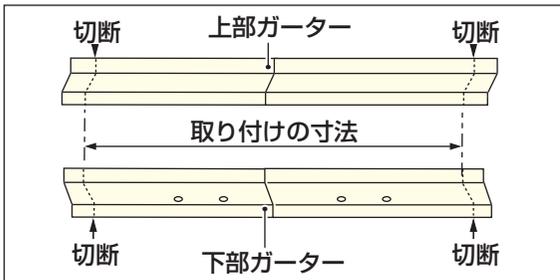
※ ケガをする恐れがあります。

上部・下部ガーターの端末部分が尖っているため、注意をしてください。

※ ケガをする恐れがあります。

過程ビスをハンマーなどで打ち込む際は、十分注意してください。

※ ケガをする恐れがあります。

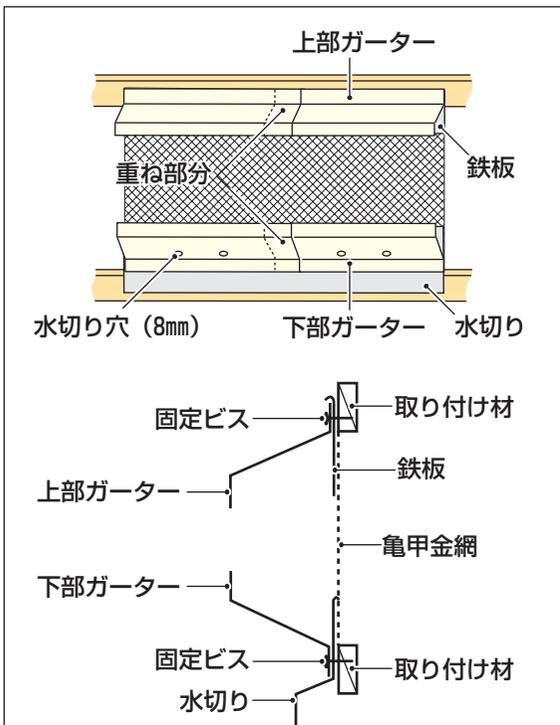


1 取り付けの寸法に収まるように、上部・下部ガーターの端末を切断します。

2 鉄板の折り返し部分に上部ガーターを差し込み、固定ビスで固定します。

お知らせ

- 上部・下部ガーターは、必ず重ねて取り付けてください。
- 気密性を保持するために、重ね部分にコーキングをしてください。
- 上部と下部のガーターを逆に取り付けしないでください。下部のガーターには水切り穴（8mm）があります。

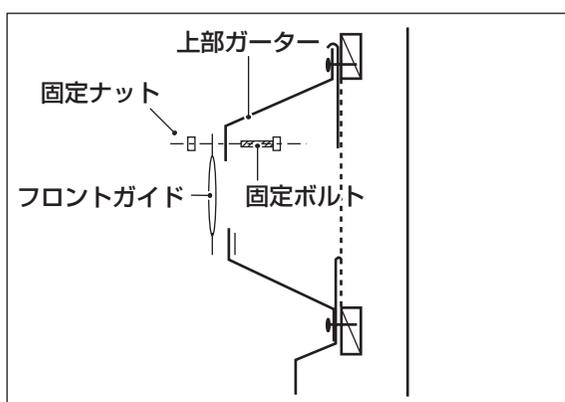


3 水切りの折り曲げ部分に沿って、下部ガーターを差し込み、固定ビスで固定します。

フロントガイドの取り付け

お知らせ

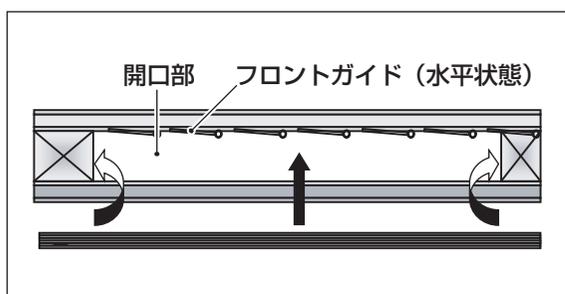
- フロントガイドは、各型式により長さが決まっています。上部ガーターと下部ガーターのフロントガイド固定用穴で固定してください。
- 付属の固定ボルトは必ず上部・下部ガーターの内側から差し込み、外側で固定ナットで固定をしてください。



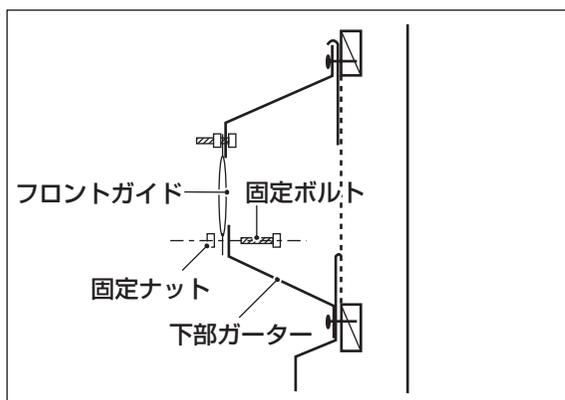
- 1** フロントガイドを上部ガーターに固定ボルトと固定ナットで固定します。

お知らせ

- エアマットチューブを装着するため、上部ガーターのみ仮留めしてください。



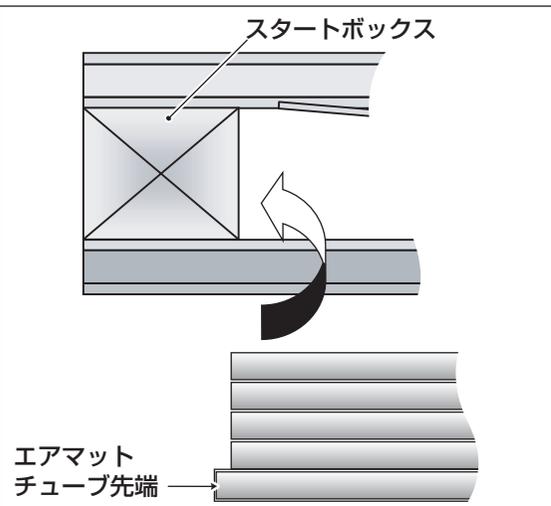
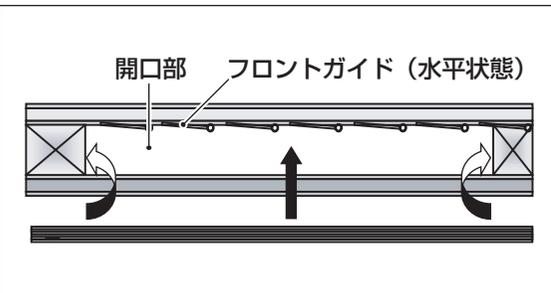
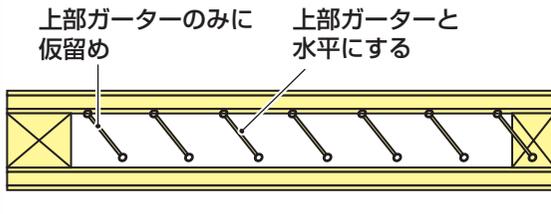
- 2** 開口部内に、エアマットチューブを装着します。



- 3** フロントガイドを下部ガーターに固定ボルトと固定ナットで固定します。

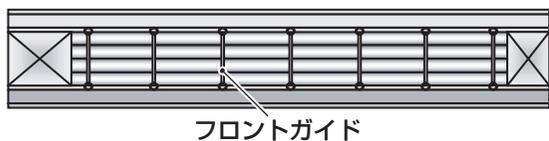
エアマットチューブの装着

フロントガイドの取り付け状況



装着完了 (エア供給状態)

エアマットチューブを装着後、フロントガイドを下部ガーターに取り付ける



1 上部ガーターにフロントガイドが仮留めされているか確認します。

お知らせ

- フロントガイドが下部ガーターに固定されている場合は、解除してください。

2 開口部内に、エアマットチューブを均等になるように装着します。

お知らせ

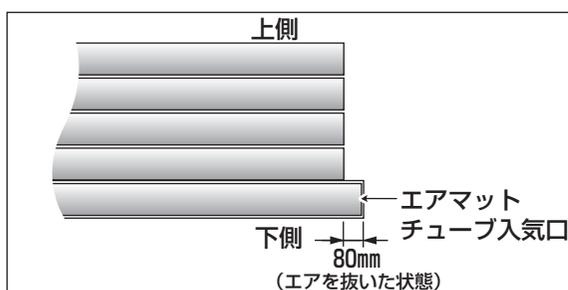
- エアマットチューブの先端はスタートボックス側に装着してください。
- エアマットチューブを引き摺ったり、無理に引っ張るようなことはしないでください。
- エアマットチューブを尖ったものやボルト等に引っ掛けて破かないように細心の注意を払ってください。

3 エアマットチューブ装着後、フロントガイドを下部ガーターに取り付けます。

お知らせ

- フロントガイドの取付方法は、「フロントガイドの取り付け」(13 ページ)を参照してください。

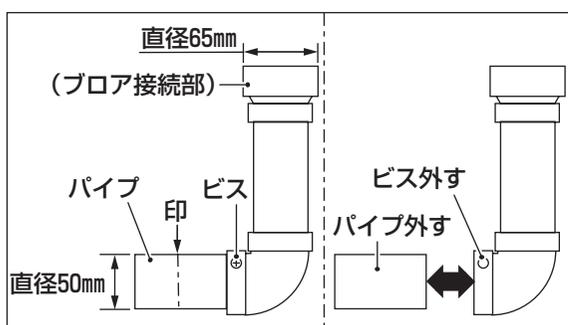
フロアの取り付け



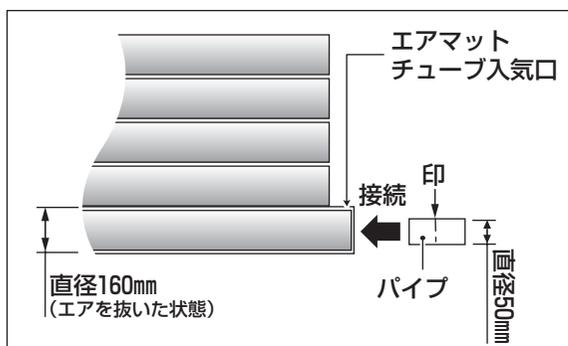
1 エアマットチューブ入り口と上側・下側を確認します。

お知らせ

- エアマットチューブ入り口（穴）が下になるようにします。
- エアマットチューブ入り口は 80mm 長くなっています。



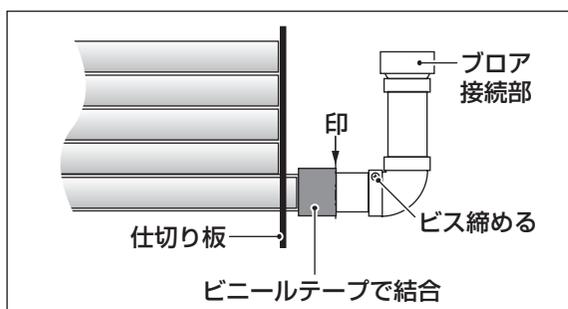
2 パイプ接続用のビスを外し、スタートボックスのフロアよりパイプを外します。



3 エアマットチューブ入り口とパイプを接続して、ビニールテープで結合します。

お知らせ

- 結合位置は、エアマットチューブ入り口を直径 50mm のパイプについている印に合わせてください。
- エアマットチューブ入り口のねじれ、向きに注意してください。
- エアマットチューブは直径が 160mm あります。



4 結合後は、フロア接続部にパイプを接続して、パイプ接続用のビスを締めます。

5 スタートボックス内にパイプを収め、フロア接続部をフロアに接続します。

電気配線

配線上の注意

⚠ 警告



アース線接続

アース線の接続を必ず行ってください。
※ 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

⚠ 注意

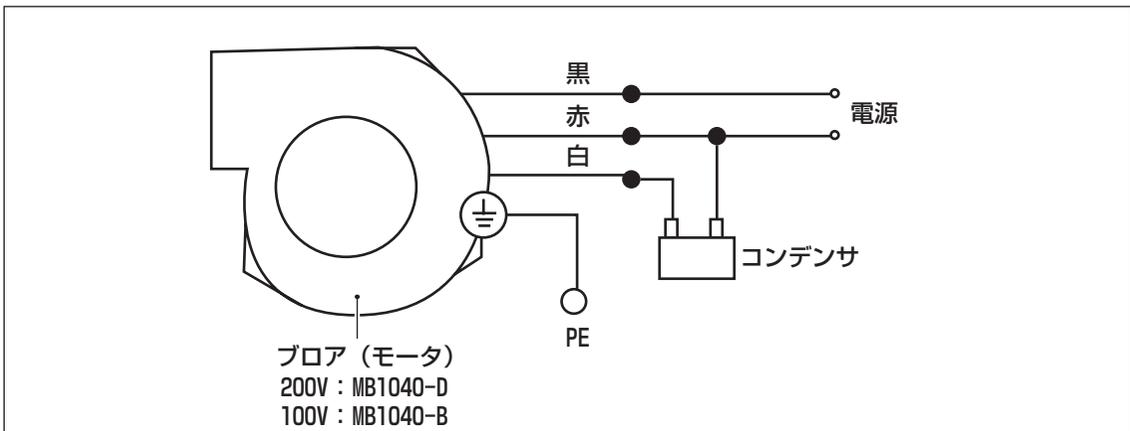


使用電圧以外には接続しないでください。
※ 火災、感電の恐れがあります。

エア供給ファンユニットの接続について

お知らせ

- 接続の詳細については、『エア供給ファンユニットの取扱説明書』を参照してください。



試運転

■ 試運転前の確認事項

試運転前に以下の項目について確認をしてください。

● 電気系統について

チェック欄	確認項目
<input type="checkbox"/>	電線の接続は確実か？
<input type="checkbox"/>	電線の固定は確実か？
<input type="checkbox"/>	欠相になっていないか？
<input type="checkbox"/>	電源電圧は規定通りか？ 製品（三相 / 単相 230 V ± 20 V）
<input type="checkbox"/>	アース線は確実か？
<input type="checkbox"/>	過負荷保護装置は設置したか？

● その他

チェック欄	確認項目
<input type="checkbox"/>	ブロー（モーター）が正常に起動しているか。
<input type="checkbox"/>	エアマツチューブに穴、亀裂はないか。
<input type="checkbox"/>	フロントガイドの固定ボルト・ナットは確実に締め付けられているか。

■ 試運転手順

1 主電源スイッチを入（ON）にします。

⇒ エアマツチューブに空気が入り、開口部が閉じることを確認します。

2 主電源スイッチを切（OFF）にします。

⇒ エアマツチューブの空気が抜け、開口部が開くことを確認します。

運転

⚠ 注意



使用電圧以外には接続しないでください。

※ 火災、感電の恐れがあります。



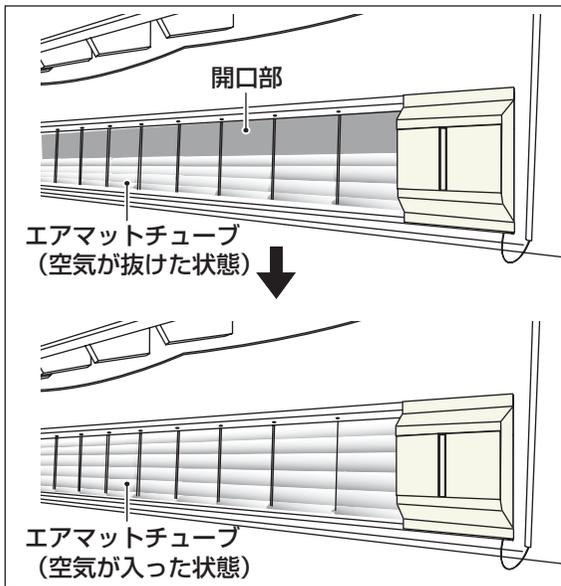
周囲に人がいないことを確認してから操作を行ってください。

※ ケガをする恐れがあります。

運転前の準備（試運転時と同様）

施工が正しく行われているか確認してください。

運転のしかた



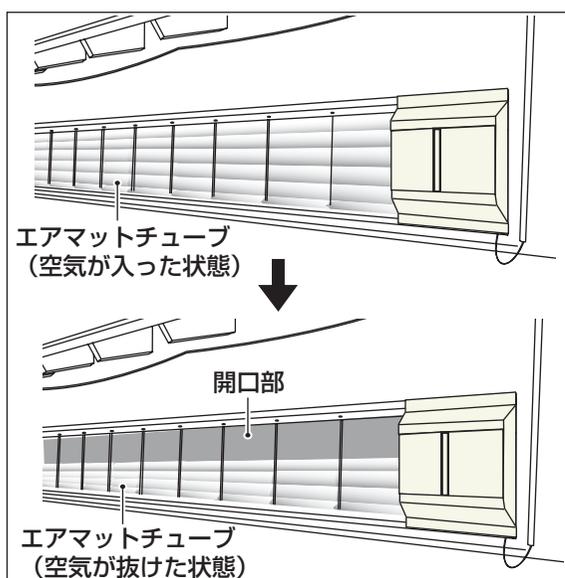
1 主電源スイッチ（ブレーカ）が入（ON）します。

⇒ エアマットチューブに空気が入り、開口部が閉じます。

運転中の確認（試運転時も同様）

- エアマットチューブ全体に空気が入っているか、また、空気が漏れていないか確認します。
- エアマットチューブがねじれていないか確認します。

停止のしかた



1 主電源スイッチ（ブレーカ）が切（OFF）します。

⇒ エアマットチューブの空気が抜け、開口部が開きます。

保守点検

⚠ 警告



保守点検作業の前に、この施工要領書に記載している内容を熟読し、安全対策を講じた上で実施してください。

※ 人身事故の原因になります。

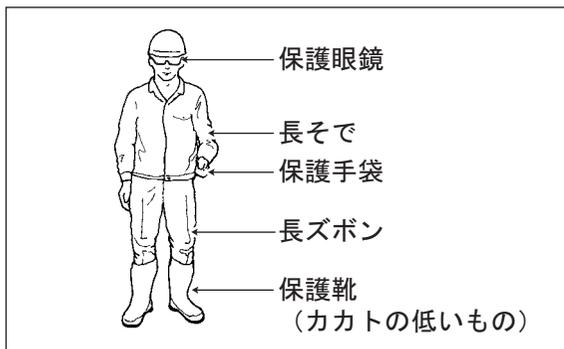
定期点検一覧

下表の頻度で、点検してください。

点検項目	点検内容	処置方法	点検周期	
			月次点検 (1回/月)	定期点検 (1回/年)
フロントガイド	固定ボルト・ナットが緩んでいないか確認する	緩んでいる場合は、増し締めを行ってください。	—	○
エアマット チューブ	穴や亀裂がないか確認する	当社までご連絡ください。 修理もしくは、交換する必要があります。	○	○
	ねじれていないか確認する	ねじれている場合は、ねじれを取ってください。	○	○
	ブローと結合している、ビニールテープが剥がれていないか確認する	当社までご連絡ください。 修理もしくは、交換する必要があります。	○	○
上部ガーター	錆がないか確認する	当社までご連絡ください。 修理もしくは、交換する必要があります。	○	○
	上部ガーターを固定している釘が抜けていないか確認する	釘が抜けている場合は、再度打ちなおしてください。	○	○
下部ガーター	錆がないか確認する	当社までご連絡ください。 修理もしくは、交換する必要があります。	○	○
	下部ガーターを固定している釘が抜けていないか確認する	釘が抜けている場合は、再度打ちなおしてください。	○	○
ブロー（モータ）	異音・異臭がないか確認する	『ブローの取扱説明書』に従って処置をしてください。	○	○
主電源 スイッチ	主電源スイッチを入（ON）、正常に作動するか確認する	主電源スイッチを切（OFF）にして、当社までご連絡ください。	○	○

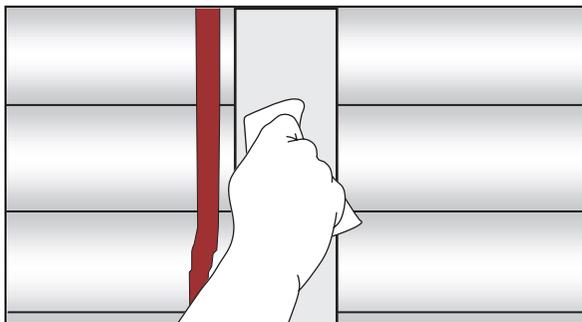
お手入れについて

■ お手入れの前に



- 作業前に保護具を着用してください。
- 主電源スイッチが切（OFF）になっていることを確認してください。

■ お手入れ



エアマットチューブにほこりが付着すると誤動作の原因となるため、定期的に掃除をしてください。

中性洗剤を含ませたやわらかい布で拭いた後、乾いたやわらかい布で空拭きします。

困ったときは

異常の原因と処置方法

以下の処置を行っても現象が変わらない場合は、当社もしくは代理店までご連絡ください。

不具合の内容	可能性のある原因	処置方法	参照ページ
エアマットチューブに空気が入らない	フロア（モータ）が故障している	フロア（モータ）を交換してください。交換については、「フロア（モータ）の取扱説明書」を参照してください。	—
	主電源スイッチに異常がある	主電源スイッチを切（OFF）にして、当社に連絡をしてください。	18
	エアマットチューブに穴、亀裂がある	<ul style="list-style-type: none">● 新しいエアマットチューブを購入の上、交換してください。● 当社に連絡をしてください。エアマットチューブを確認の上、当社にて修理を行います。	14
	エアマットチューブ先端のビニールテープが剥がれ、空気がもれている	ビニールテープを巻き直してください。	15

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れ・転居などのご相談は、必ずお買い求めの代理店へお申し付けください。

■ 保証書について

保証書は代理店からお受け取りください。所定事項の記入（お買い上げ日、お客様名、代理店名など）および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

■ 修理を依頼される時

- サービスを依頼される前に「困ったときは」(22 ページ参照)に従ってご確認いただき、それでも異常がある場合は、ご使用を中止し、電源アダプタをコンセントから抜いて、お買い求めの代理店に依頼してください。
- 保証期間中はお買い上げの代理店まで保証書（本書）をそえてご持参ください。保証の規定に従って、修理させていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの代理店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

■ 修理ご相談窓口

ご自分で修理をなさらず、お買い求めの代理店にお申し付けください。（裏表紙記載）

保証書

形名			
お客様	お名前	様 ☎	
	ご住所		
取扱代理店名・住所・電話番号			
保証期間	お買い上げ日		
		年 月 日より	本体は1年間 ただし消耗品は除く

欄に記載のない場合は有効とはなりませんので、必ず記入の有無を確認してください。

■ 無償修理規定

- 当社は、施工要領書の注意書きに沿った使用状態で、保証期間内故障した場合は、無料で修理をさせていただきます。
- 定期的な定期点検は、当社に依頼してください。当社の施工要領書に従って、正しい定期点検を行わないと、保証はいたしません。
- 本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行する者（保証責任者）、および、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましておわかりにならない場合は、当社もしくはお買い上げの代理店までお問い合わせください。
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

■ 保証期間

- お買い上げ日を基準として、1年間製品を保証します。

■ 免責事項

- 施工要領書に記載されていない使用方法による故障および損傷
- 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障
- 用途外に使用された場合の故障および損傷
- お買い上げ後の衝撃、落下、移動または輸送などによる故障および損傷
- 労働コスト、生産性の損失の賠償、および輸送料の費用
- 使用上の故意、過失または不当な修理や改造による故障および損傷
- 異常電圧による故障
- 電源電圧の変動が定格の±6%を超えたことによる故障
- 火災・塩害・ガス害・異常電圧および地震・雷・風水害・その他天災地変などによる故障
- 通常の使用による消耗品の取り替えや修理
- 保証書に、お買い上げ日、お客様名、代理店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合
- 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行なう場合の、出張に要する実費

販売元： イワタニ・ケンボロー株式会社

〒111-0051 東京都中央区日本橋兜町 3-5 郵船兜町ビル 4 階
電話 03-3668-5360
<http://www.camb.co.jp/>

輸入元： 岩谷産業株式会社

〒105-8458 東京都港区西新橋 3 丁目 21 番 8 号
電話 03-5405-5922

お客様の個人情報に関するお取り扱いについて

当社は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」と記す）を、下記のとおり、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、当社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
2. 当社は、お客様の個人情報を、下記の場合を除いて第三者への開示・提供はいたしません。
 - ・修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合
 - ・法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合
 - ・その他正当な理由がある場合
3. 当社は、お客様の個人情報を適切に管理します。

長年ご使用のエアマットカーテンの点検をぜひ！

こんな症状はありませんか？

- 運転ボタンを押しても、ときどき運転しないときがある
- エアマットチューブに空気が入らない。
- その他の異常がある



故障や事故防止のため、主電源スイッチを切（OFF）にしてから
お買い上げの当社もしくは代理店まで点検 修理をご相談ください。

代理店

お問い合わせ先

受付時間 月～金曜日 午前9時～12時 午後1時～5時
(土、日、祝日および当社規定日は除く)

イワタニ・ケンボロー株式会社

札幌営業所 : 011-807-8261

東北営業所 : 0197-22-8301

東京営業所 : 03-3668-5360

大阪営業所 : 06-6448-8766

九州営業所 : 0985-23-5543

※電話番号はお確かめのうえ、お掛け間違いのないようお願いします。